



学校だより

令和4年1月31日
No.11 2月号
横浜市立篠原西小学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinoharanishi/>

チャレンジすることの喜び

副校長 京樂眞次

カレンダーをめくり「立春」という文字を目にすると、時の流れの速さを感じます。2月4日は立春です。今年は昨年よりも寒さが厳しいと感じているのは私だけではないはずです。まだまだ寒い日が続きます。まん延防止等重点措置が再び適用されました。感染防止対策の他にも早寝、早起きをして、朝ご飯をしっかりと食べることの重要性を家族内で再確認していただき、子どもたちが元気に過ごすことができるようご配慮をお願いします。

さて、私が篠原西小学校に着任して10か月になります。コロナ禍であっても友達と協力しながら感染防止のために気を付けて生活している様子など、本校に在籍している子どもたちの良い面や学校の特徴等、挙げれば枚挙にいとまがありません。また着任して個人的に毎日楽しみにしていることがあります。それは「新横浜駅」です。その中でも特に楽しみにしているものは新幹線です。白い車体に青いライン、流線型の先頭車両は、ご存じN700系。

私が鉄道に興味をもったのは幼少期の頃、きっかけはよく覚えていません。広島にある祖父母の家に新幹線で行っていたことも多少は影響していたのかもしれませんが。将来の夢が「鉄道の運転士（しかも国鉄の特急電車）」になるのには時間はかかりませんでした。小学生時代は時刻表を読みあさっては「妄想鉄道旅行」を楽しみ、様々な地域の、そして多くの特急電車に乗っていました（当然妄想です）。中学生になり「どうしたら国鉄（今のJR）の運転士になれるのか」を調べたところ、「高校を卒業した後に就職試験を受ける」という文言を目にしました。

ところが、高校1年の担任との面談で「国鉄は今、赤字を抱えているから経営合理化のため新卒の採用を10年くらい控えるみたいだよ。」との驚きの事実を知りました。その日は放課後の部活に参加したのか、どうやって家に帰ったのか記憶にありません。採用試験を受けて落ちたのならまだしも、そのチャンスすらなくなったことの喪失感は大きいものでした。今でも新幹線を見るとあの運転席に座っているのが自分だったら、と想像することがあります。

チャレンジすることはとても良いことです。結果がたとえ悪かったとしてもその反省は次に生かすことができます。チャレンジすることができなかつた私としては、チャレンジできることに喜びを感じて欲しいと思います。

1月は行く、2月は逃げると言います。2月になったと思ったら、もう3月だというようにあっという間に新幹線のごとく過ぎて行ってしまいます。1年間の締めくくりに向けて教職員一同しっかりと子どもたちを支援していきたいと思っています。ご協力よろしくをお願いします。